

第44回 プロテオーム医療創薬研究会

【実施日】 2013年2月22日(金) 17:00~18:30

【会場】 横浜市立大学 福浦キャンパス D1 講義室

【来場者】 約20名

【内容】

演題：「腸内細菌叢および性ステロイドホルモンによるエネルギー調節機構：新規細胞膜上の短鎖脂肪酸受容体および性ステロイド受容体の機能解析」

講師：木村郁夫先生

(京都大学 大学院薬学研究科 薬理ゲノミクス分野 助教)

発表要旨：近年の栄養過多な食生活変化による肥満や糖尿病に代表される生活習慣病の発症は様々な致死的な合併症につながる。従ってこの生活習慣病の予防と治療は現在の医学の最大テーマの一つである。本課題実施においては、京都大学大学院 薬学研究科 薬理ゲノミクス分野 木村郁夫助教による講演会を開催した。木村助教は、この観点から、翻訳後修飾と疾患タンパク質の相関性が考えられる糖尿病その他の代謝疾患に関わると考えられる新たな脂質をリガンドとするGタンパク質共役型受容体 Gpr41, 43 あるいは性ステロイド受容体に関する最新の知見を紹介頂いた。

参考文献) 1) Dysfunction of lipid sensor GPR120 leads to obesity in both mouse and human. Ichimura A, et al. Nature 483:350-354, 2012. 2) Circadian regulation of intracellular G-protein signalling mediates intercellular synchrony and rhythmicity in the suprachiasmatic nucleus.

Doi M, et al. Nat Commun 2:327, 2011.